

2023年6月26日

第120回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2023年7~12月期 B. S. I.)

景況感は大きく上向き、2期ぶりの改善判断
～原材料や賃金は上昇するも、収益環境に好転の兆し～

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、5月中旬に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、ご案内します。

景気見通し

- 2023年下期（7～12月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（35%）が「下降」（13%）を+22ポイント上回り、2期ぶりにプラス（景況感の改善を示す結果）となった。
- 原材料価格の高止まりや賃金上昇に対する懸念は依然残るものの、価格転嫁の浸透や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化で、業界景気の好転を見込む経営者が増加した。
- 企業規模別にみると、大企業では「上昇」（46%）が「下降」（4%）を+42ポイント、中小企業も「上昇」（34%）が「下降」（14%）を+20ポイント上回り、それぞれ2期ぶりのプラスとなった。
- 業種別にみると、製造業は「上昇」（34%）が「下降」（16%）を+18ポイント、非製造業でも「上昇」（36%）が「下降」（10%）を+26ポイント、それぞれ上回り、ともに2期ぶりに改善判断となった。
- 2024年上期の見通しについては、製造業が+18ポイント、非製造業が+12ポイントと、ともに改善基調の維持を見込む企業の割合が多い。

※本件のお問い合わせ先 担当（岩本 真弥）

〈7月の記者発表予告〉下記の調査について記者発表を予定しています

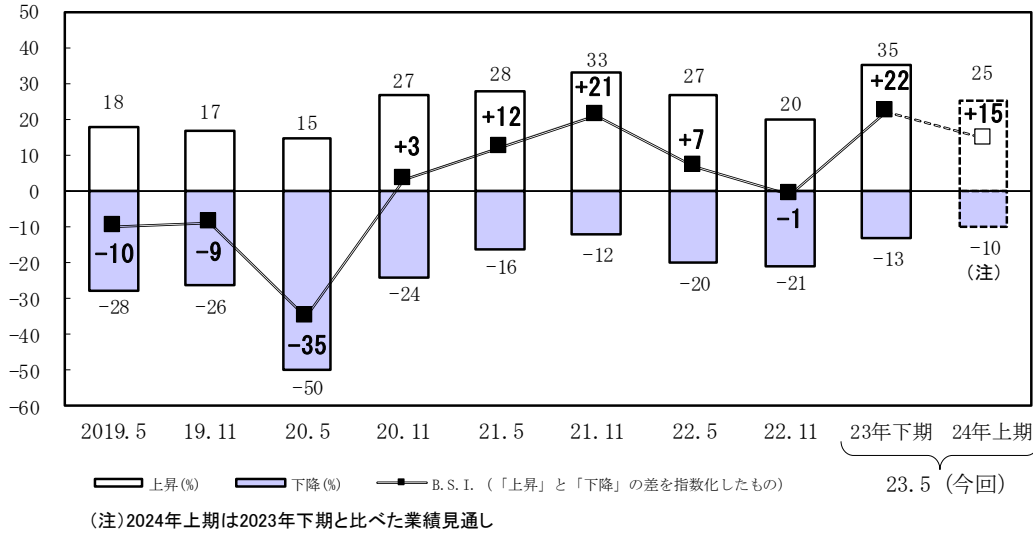
「2023年7～9月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査」

今月の定例調査

第120回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2023年7～12月期B.S.I.)

景況感は大きく上向き、2期ぶりの改善判断 ～原材料や賃金は上昇するも、収益環境に好転の兆し～

図表1 業界景気見通し(B.S.I.)の推移



景気見通し(概況)

□B.S.I. は2期ぶりに好転、24年上期も改善が続く見通し

2023年下期(7～12月)のB.S.I.(※)による業界景気見通しは、「上昇」(35%)が「下降」(13%)を+22ポイント上回り、2期ぶりに改善判断となった(図表1)。原材料(仕入)価格の高止まりや、賃金上昇に対する懸念は依然残るものの、価格転嫁の浸透や、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動正常化で、業界景気の好転を見込む企業経営者が増加した。

企業規模別にみると、大企業では「上昇」(46%)が「下降」(4%)を+42ポイント、中小企業も「上昇」(34%)が「下降」(14%)を+20ポイント上回り、それぞれ2期ぶりのプラスとなった(次頁図表2)。

2024年上期(1～6月)は、「上昇」(25%)が「下降」(10%)を+15ポイント上回る結果となった。企業規模別でみると、大企業は+13、中小企業は+15で、ともに景況感の改善が続く見通し(次頁図表2)。原材料(仕入)価格や賃金の上昇など利益を圧迫する要因が速やかに解消する見込みは薄いですが、販売(出荷)価格への転嫁が進むことで、収益環境は徐々に改善に向かう見通し。

(※) B.S.I.(Business Survey Index)とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照

業種別見通し

□製造業、非製造業ともに改善、とくに非製造業では悪化判断業種なし

2023年下期の業種ごとの業界景気見通しを前回調査と比べると、製造業（±0→+18）は+18ポイント、非製造業（△3→+26）は+29ポイントと、ともに大きく改善した（図表3）。

業種を詳細にみると、全19業種のうち、「上昇」が11業種、「横ばい」が5業種、「下降」が3業種となった（6頁付表）。製造業では、「木材・木製品」（△29→△29）など3業種は引き続き悪化判断となったが、「食料品」（△4→+50）や「パルプ・紙・紙加工品」（±0→+46）、「金属製品」（△10→+40）などが大幅な改善を見込む。非製造業では、悪化判断の業種はなく、「運輸・倉庫業」（+15→+80）で指数が大きく上昇したほか、「ホテル・旅館業」（△15→+50）、「卸売業」（△20→+31）や「小売業」（△23→+11）などの好転が目立つ。

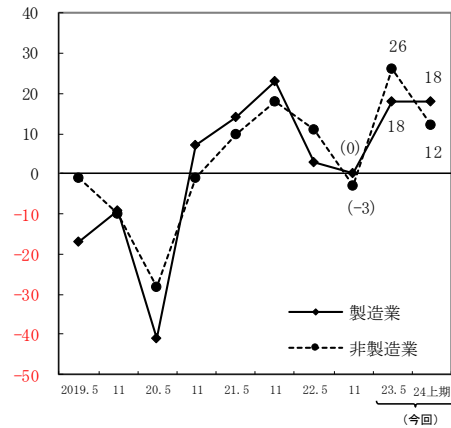
なお、2024年上期の見通しについては、製造業が+18、非製造業が+12と、ともに改善基調の維持を見込む企業の割合が多い。

図表2 業種別・規模別 B.S.I.

(単位:%)

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業界景気							
		2023年7～12月				2024年1～6月			
		上 昇	横 ばい	下 降	B S I	上 昇	横 ばい	下 降	B S I
全企業	232	35	52	13	22	25	65	10	15
大企業	24	46	50	4	42	13	87	0	13
中小企業	208	34	52	14	20	26	63	11	15
製造業	117	34	50	16	18	28	62	10	18
大企業	9	67	22	11	56	33	67	0	33
中小企業	108	31	52	17	14	27	63	10	17
非製造業	115	36	54	10	26	22	68	10	12
大企業	15	33	67	0	33	0	100	0	0
中小企業	100	37	52	11	26	25	63	12	13

図表3 業種別 B.S.I. の推移



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。

注2) 「2023年7～12月」は「2023年1～6月」と、「2024年1～6月」は「2023年7～12月」と比較した見通しである。

調査の要領

- 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的としている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①2023年上期（1～6月）に比べた2023年下期（7～12月）、および2023年下期に比べた2024年上期の自社の業績見通し
②2023年上期に比べた2023年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：2023年5月中旬
- 回答状況：調査対象企業756社のうち、有効回答がよせられた企業は232社で、有効回答率は30.7%である。

注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたものの。前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…zについて、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義。全員が上昇とみればB.S.I.は+100、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

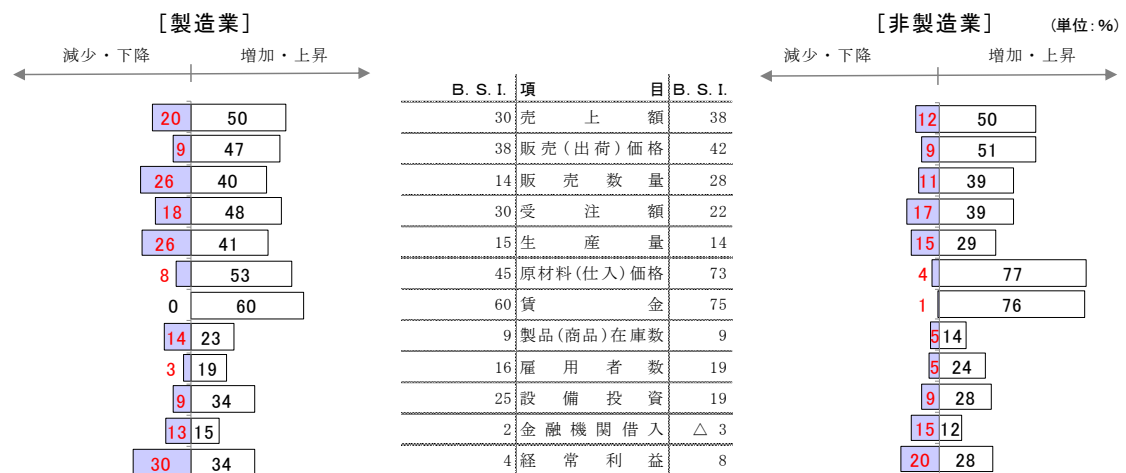
項目別見通し

コスト高の懸念を抱えつつも、売上増加で経常利益は好転する見込み

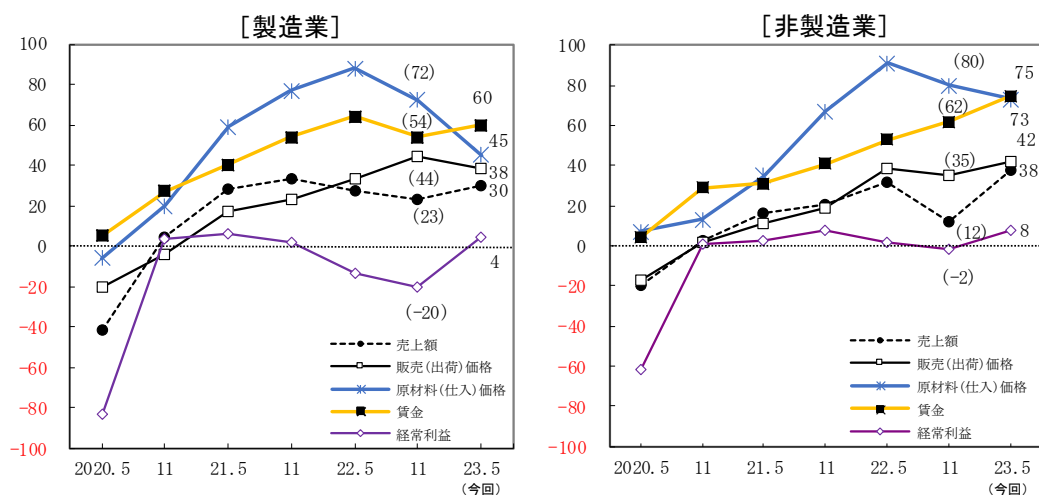
今後の見通しについて項目別に前回調査と比較すると、製造業では、「賃金」(+54→+60)や「原材料(仕入)価格」(+72→+45)の上昇を懸念する向きが強いものの、「販売(出荷)価格」(+44→+38)の上昇や「販売数量」(+5→+14)の増加が続くことで「売上高」(+23→+30)の増加が見込まれ、「経常利益」(△20→+4)は若干の改善に転じるとみられる(図表4、5)。

非製造業でも同様に、「賃金」(+62→+75)や「原材料(仕入)価格」(+80→+73)の上昇が続くと予想されるが、「販売(出荷)価格」(+35→+42)の上昇に加え、コロナ収束に伴う需要回復により「販売数量」(+2→+28)および「売上額」(+12→+38)の大幅な増加が見込まれ、「経常利益」(△2→+8)も改善に転じる見通し。

図表4 2023年7~12月の項目別B.S.I.



図表5 主要な項目別B.S.I.の推移



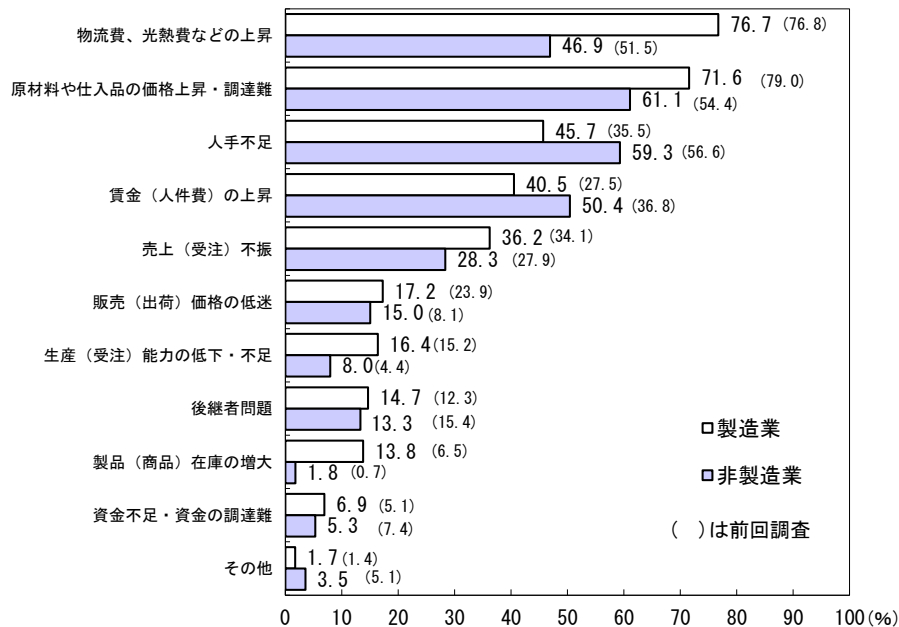
経営上の問題点

□コストの高止まりに加え、人材関連の問題点を挙げる企業が増加

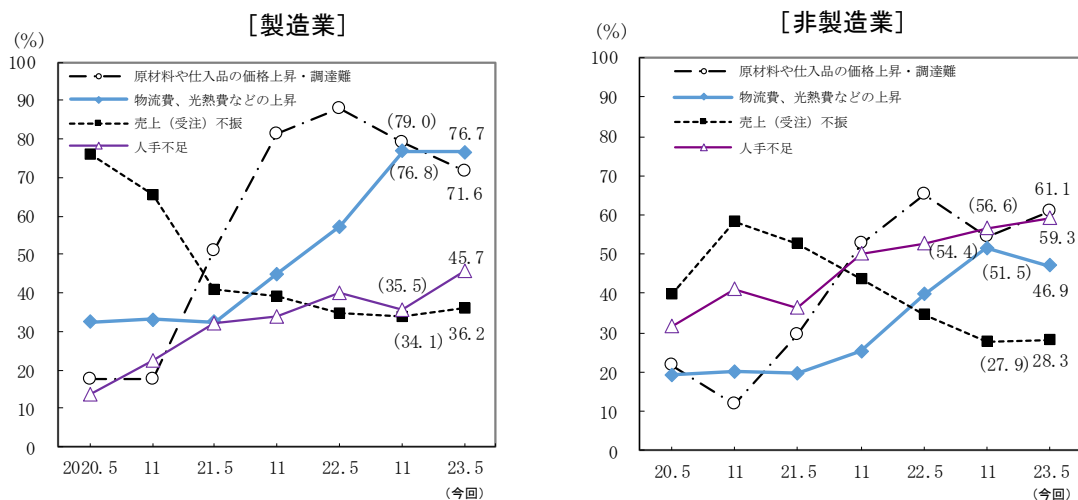
企業経営上の問題点としては、製造業では「物流費、光熱費などの上昇」(76.7%)と「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」(71.6%)の回答が多い。ともに前回調査からはやや低下したが、コスト高を懸念する声は依然として根強い(図表6、図表7)。また、「人手不足」(45.7%)と「賃金(人件費)の上昇」(40.5%)が、いずれも前回から+10ポイント超上昇しており、人材に関する問題意識が高まっている。

非製造業では「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」(61.1%)が最も多く、前回から+6.7ポイント上昇した。次いで、「人手不足」(59.3%)、「賃金(人件費)の上昇」(50.4%)が並び、製造業以上に雇用面を問題視する企業が多かった。「物流費、光熱費などの上昇」(46.9%)は高い水準が続くが、前回から△4.6ポイント低下した。

図表6 現在の企業経営上の問題点(複数回答)



図表7 主要な企業経営上の問題点の推移



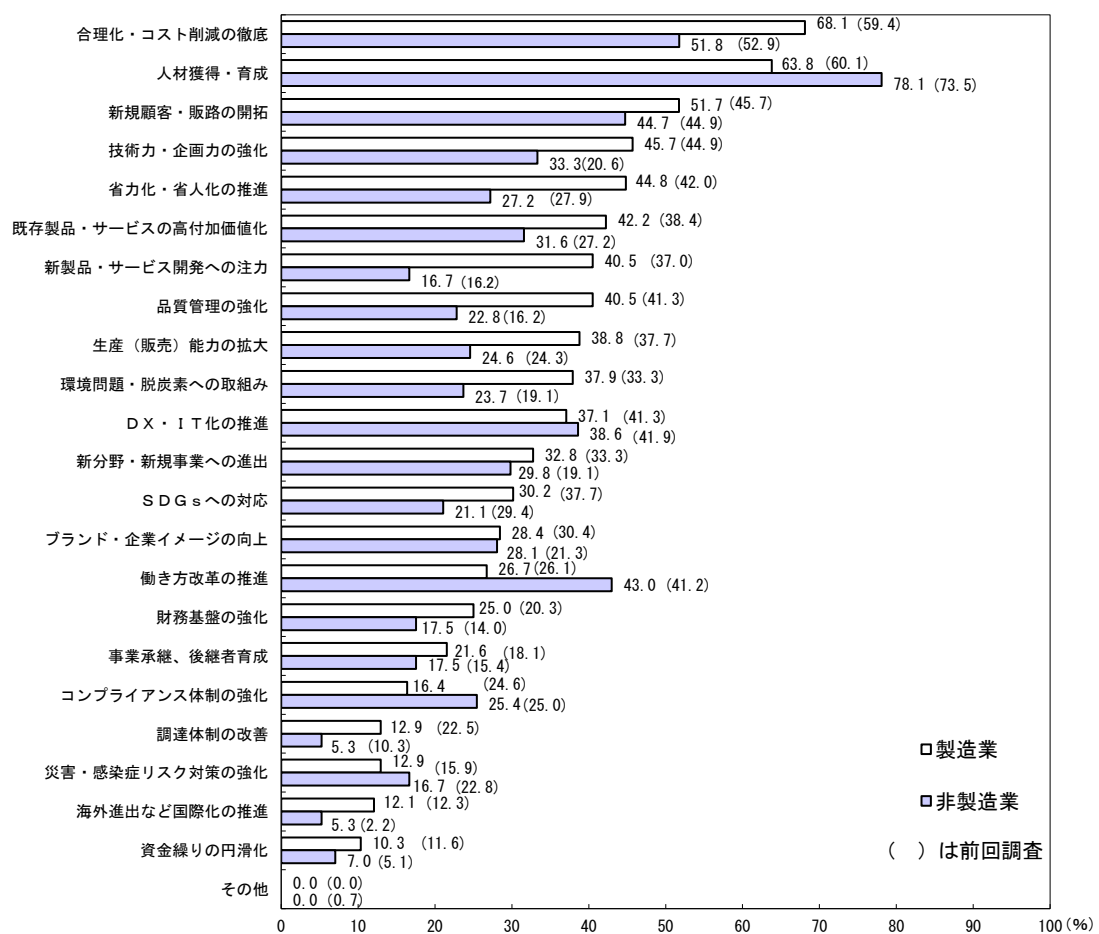
今後重視する経営戦略

□経営合理化や人材育成に注力し、生産性の向上や新規の取組みを推進

今後重視する経営戦略としては、製造業では「合理化・コスト削減の徹底」68.1%、（前回調査比+8.7ポイント）、非製造業では「人材獲得・育成」78.1%（同+4.6ポイント）が、それぞれ最多で、いずれも前回から増加した。原燃料価格や賃金の上昇が予想される中、経営合理化や人材育成に注力し、生産性の向上を図る企業が増えている。

このほか、製造業では「新規顧客・販路の開拓」（45.7%→51.7%）、非製造業では「技術力・企画力の強化」（20.6%→33.3%）の増加が目立つ。経済活動が正常化しつつある中で、危機を乗り越え再び成長軌道に戻そうとする経営者の気概が垣間見える。

図表8 今後重視する経営戦略（複数回答）



以上、静岡県内企業経営者による2023年下期の景気見通しは、2期ぶりに改善判断となった。原燃料価格の高止まりに加え賃金も上昇基調にあるが、販売価格への転嫁が進むほか、コロナ収束による需要回復で、業績の改善が見込まれている。厳しい収益環境に好転の兆しがみられる中で、今後は、経営合理化や人材への投資を進め、アフターコロナに向け企業体質を強化していく動きが強まると予想される。
（岩本 真弥）

付表 2023年7～12月の業界景気、自社の見通し（B.S.I.）

項目（B.S.I.） 区分	（業 前界 回景 ）気	（業 今界 回景 ）気	売 上 額	価 格 （ 出 荷 ）	販 売 数 量	受 注 額	生 産 量	（原 仕 入 ）材 価 格 料	賃 金	在製 品 庫 （商 品 ） 数	雇 用 者 数	設 備 投 資	借 金 融 機 関	経 常 利 益
	全産業(232)	△ 1	22	34	40	21	26	15	59	68	9	17	22	△ 1
製造業(117)	0	18	30	38	14	30	15	45	60	9	16	25	2	4
食料品(16)	△ 4	50	57	63	6	53	13	50	56	△ 6	13	19	0	19
繊維品(4)	△ 25	0	50	50	△ 25	△ 25	△ 50	100	50	△ 25	△ 25	△ 25	△ 25	0
木材・木製品(7)	△ 29	△ 29	△ 14	△ 29	△ 43	△ 28	△ 43	△ 29	71	△ 43	14	0	△ 16	△ 43
パルプ・紙・紙加工品(13)	0	46	77	54	46	54	46	25	69	△ 8	15	50	17	59
化学・ゴム製品(6)	△ 25	△ 17	33	17	16	16	16	50	33	17	33	16	17	△ 33
窯業・土石製品(5)	0	0	△ 20	60	△ 20	20	△ 20	80	60	20	20	△ 20	△ 20	△ 40
鉄鋼・非鉄金属(7)	△ 20	△ 15	△ 57	△ 15	△ 71	△ 43	△ 71	29	57	0	0	14	0	△ 57
金属製品(10)	△ 10	40	70	50	70	70	50	30	30	△ 10	20	30	0	10
一般機械器具(13)	16	23	31	61	15	31	39	46	54	31	0	7	15	15
電気機械器具(4)	25	0	0	50	0	25	25	100	75	50	25	50	△ 75	△ 25
輸送用機械器具(21)	15	15	24	24	29	35	34	52	71	33	28	38	14	5
その他の製造業(11)	33	0	28	37	28	37	18	64	73	18	18	45	0	18
非製造業(115)	△ 3	26	38	42	28	22	14	73	75	9	19	19	△ 3	8
建設業(25)	0	4	24	30	23	12	5	79	84	0	21	8	9	△ 4
卸売業(22)	△ 20	31	50	68	46	58	54	86	67	29	13	33	0	13
小売業(18)	△ 23	11	33	31	6	13	△ 7	68	88	24	5	11	△ 16	△ 11
運輸・倉庫業(15)	15	80	67	69	50	11	43	50	79	0	40	40	14	47
ガス業(4)	—	0	0	△ 50	△ 50	△ 25	△ 50	0	75	△ 50	0	0	△ 75	0
サービス業その他(25)	8	24	28	36	33	15	8	83	64	0	13	13	0	△ 8
ホテル・旅館業(6)	△ 15	50	67	33	50	50	40	83	67	0	50	17	△ 17	67
規模														
大企業(24)	0	42	50	50	34	28	27	68	71	24	29	50	△ 14	21
中小企業(208)	△ 2	20	33	38	18	26	14	58	67	7	16	18	1	4
地域														
東部(64)	3	31	43	42	25	41	20	51	62	10	8	24	6	18
中部(92)	△ 7	23	31	38	24	23	16	62	70	2	15	19	△ 11	4
西部(76)	2	13	32	40	13	17	10	60	69	17	28	21	6	△ 2

※区分の横の（ ）内の数字は回答数